科目名 Subject	着装技術Ⅰ Techniques of Kimono DressingⅠ		教員名	着装チーム	
開講年次	1又2	開講時期	前期	単位	2
必修／選択	選必	授業形態	実習	時間	60
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	◎	○	○	◎
科目の概要	日本の伝承美、着装の技術および着物の基本知識を学び、“日本の心を着る”という豊かな感性と人を思いやる心を育て、日本人としての文化教養を身につけます。 また「自分で着る、人に着せる」実習を通して美齢学に通ずる子供から高齢者へ向けた着つけの基本技術を習得し、接客の心得を学びながら美容総合実践として着つけ技術基礎を固めます。さらにこの科目は社会で活躍する自分の姿を常にイメージし、職業実践専門課程に基づくカリキュラムの実践を通し就職、社会事業に沿った学びができます。社会人としての素養を日本人としての資質を一回一回の授業で身に着けることで、自分自身の成長を感じることができる科目となります。				
授業の目標	本科目の履修を通して、 ① 生活の中に関わる着物文化と装いを理解し、四季に応じたコーディネイトや装いの表現力を養う事が出来る。 ② 山野流美道五大原則に基づいたトータルビューティの習得と美齢学の基礎実践が出来るようになる。 ③「自分で着る,人に着せる」の着つけの基本技術を習得する事が出来る。 ④社会人となる自分を常にイメージし、就職1年目から社会に貢献できる技術、マナー、日本文化の知識を習得する。 ⑤ 一部外国人のお客様への対応を取り入れてイングリッシュコミュニケーションを通して世界で活躍できる多様性のある着付師となれるようになる。				
時間外学習 （予習・復習）	予習・復習共に技術者として接客を意識した生活学習を行う。予習：次回授業対象の範囲につきTVや雑誌ほかSNSなどでTPOやコーディネイトを確認する。復習：学びの経過をSNSに掲載したり各自タブレットに保存するなど技術向上を目で見て確認する。又TVや雑誌、SNSなどからテクニックの相違を確認すること。他、コンテストやイベントの教員指導による時間外予習復習も場合により有り得る。総合で30－40時間以上の予習を見込む				
教科書・教材	教科書	着つけ教本は初回に配布　　ほか必要に応じてプリント配布			
	教材	授業に必要な教材を初回に配布			
	使用設備・備品	授業に必要な教材は国際美容協会からレンタル（保管は短大教室内）			
	参考文献	（一財）国際美容協会貯蔵			
評価方法	平常点２０％、実技試験６０％、筆記試験１５％、評価シート５％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
	口頭にて試験の相対的評価を行い、次の学習目標を伝える。				
履修上の注意	①個人持参物 /半紙、筆記用具、白ソックス、白タオル5本、ハサミ、名前ペン 女子は前後の衿が大きく開いたシャツ（キャミソール）、7分丈迄のレギンス、男子はVかU字型シャツ、短パン　②マナー/ 実習時は髪を一つに束ねる事、素足入室は厳禁				
本科目履修と関連する資格	資格名	美容着付師			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション トータルビューティと美齢学	山野が目指すトータルビューティ及び美齢学の概念を理解できるようになる	山野美容芸術短期大学の理念を覚えてくること
第２回	浴衣の知識　着付けと帯結び	着つけに必要な小物と着物の名称を覚え、一人で着物を着る事を理解できるようになる	着つけに必要な小物と各部名称について予習復習が必要
第３回	礼装　留袖の知識	礼装の着物を理解できるようになる	着つけに必要な小物と各部名称について予習復習が必要
第４回	着付け前の準備	着つけの備品を覚え、着付け前の準備ができるようになる	準備の方法につき各自30分程度復習すること
第５回	外出着の装い	着物の種類を学び、街着の着物について理解できるようになる	準備方法の小テストのため30分程度の予習が必要
第６回	小紋①　着物と名古屋帯	一人で着物が着られるようになる	小紋のについて社会情報を得てくること
第７回	小紋②	自分で小紋の着物を着ることができるようになる	テキストを見て復習
第８回	一人で着る着物と帯結び	一人で名古屋帯を結ぶ事ができるようになる	テキストを見て復習
第９回	小紋③	一人で着物と名古屋帯を結ぶことができるようになる	テキストを見て復習
第１０回	一人で着る着付け仕上げ 小テスト	一定の時間内に綺麗に着つけと帯結びができるようになる	小テストのため事前予習が必要 （テキストでプロセスを確認）
第１１回	留袖①	礼装にふさわしい、ヘアスタイル着つけのバランス感覚を理解できるようになる	留袖のTPOについて予習
第１２回	留袖のヘアメイクと着付けのデモンストレーション	留袖着つけのトータルバランスとイメージを理解できるようになる	社会情報から礼装のヘメイクを予習してくる
第１３回	留袖②	長襦袢、留袖の着つけのプロセスを理解できるようになる	テキストを見て復習
第１４回	長襦袢と留袖の着付け	長襦袢、着物を上手にたたむ事ができるようになる	テキストを見て復習
第１５回	留袖③	留袖の着付け（復習）、袋帯の知識を理解できるようになる	各自学習成果を保存し確認。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１６回	留袖の着付け帯結び	二重太鼓を結び仕上がりの型を理解できるようになる	保存した画像からテキストを比較して復習
第１７回	留袖④	留袖の着付けと袋帯二重太鼓の技術ができるようになる（復習）	美しい着つけのイメージ学習をしてくる
第１８回	留袖の着付けと帯結び	留袖の着付けと袋帯二重太鼓を美しく仕上げる事を理解できるようになる	テキストを見て復習
第１９回	留袖⑤	留袖の知識を確認し、着物の格と家紋を学び装いの違いを理解できるようになる	テキストを見て復習
第２０回	格式ある席の装い ミセスの礼装	礼装にふさわしい、留袖の着付けと袋帯二重太鼓の技術ができるようになる	
第２１回	留袖⑥	留袖の着付けと袋帯二重太鼓の技術ができるようになる（復習）	技術自主学習（所要時間は90分程度）
第２２回	留袖の表情と身のこなし	着る人にふさわしい、ヤングミセスから高齢者の装いの表現ができるようになる	
第２３回	留袖⑦	留袖の着付けと袋帯二重太鼓の技術ができるようになる（復習）	技術自主学習（所要時間は90分程度）
第２４回	手早く着心地の良い着付け	更に技術を磨き、手早く美しい着つけができるようになる	
第２５回	留袖⑧	留袖の着付けと袋帯二重太鼓の技術ができるようになる（復習）	技術自主学習（所要時間は90分程度）
第２６回	総仕上げ	ミセスの礼装を意識し、品格のある着つけができるようになる	
第２７回	留袖⑨	留袖の着付けと袋帯二重太鼓の技術ができるようになる（復習）	技術自主学習（所要時間は90分程度）
第２８回	技術の確認	限られた時間に留袖と帯結びの仕上げができるようになる	課題を時間内にクリアできない場合は再試験の予習が必要
第２９回	知識の確認	着物に関する基礎知識を確認できるようになる	テキストを熟読し前期の学びに関する知識を覚えてくる
第３０回	知識の確認	着物に関する知識を総合的かつ理論的に理解できるようになる	十分に知識の習得が出来なかった場合は再試験への予習が必要